

## 2021年度 招聘講師講義 成果報告書

### 第1回 2021年6月2日(水) 聖学院大学 相川 章子先生

#### **【テーマ】「日本とアメリカにおけるピアサポート・ピアサポーターの実践と研究の動向」**

国内外のピアサポート研究の動向について、その歴史をはじめ、ピアスタッフやピアサポートがいることの意味や役割、ピアサポートとリカバリーとの関係、「中動態」概念とピアサポートの近さ、対象化しない「我-汝」の関係、経験を語ること（リカバリーストーリー）が接着剤になること、日本とアメリカにおけるポジション分析（コンシューマー・プロバイダー・プロシューマー）と「葛藤」生成研究など、この領域の研究における最前線の報告だった。院生からは、研究デザインの構築に関する活発な質問があり、共生社会の実現のためには、ピアサポートが応用可能な理論であることが、理解できたディスカッションであった。

### 第2回 2021年7月10日(土) 日本福祉大学 石河 久美子先生

#### **【テーマ】「多文化ソーシャルワークの理論と実践」**

「多文化ソーシャルワークの理論と実践」について、統計データや豊富な実践事例をもとに講義をいただいた。移住者の多様性とその課題の複雑化・深刻化への対応として、多文化ソーシャルワーク実践の必要性を述べ、さらに多文化ソーシャルワーカー養成とともに、実践分野や実践方法の多様性を説明した上で、今後の課題として日本の現状にあった多文化ソーシャルワークの開発の必要性を強調された。受講者には日頃外国人支援に携わっているCSWや中国からの留学生がおり、研究関心だけではなく、日々の実践や生活経験に基づく質疑応答が行われた。

### **第3回 2021年11月17日(水) 日本福祉大学 原田 正樹先生**

#### **【テーマ】「地域福祉と福祉教育 -地域共生社会の実現に向けて-**

地域共生社会政策は、制度や法律改訂と共に、人々の意識や行動変容がその実現に不可欠であるが、その具体的方法として福祉教育視点からのプログラムや指導・介入方法を中心に講義をいただいた。福祉教育の歴史や発展過程は、学部・大学院カリキュラムには含まれていないが、地域づくりや活動・参加の場づくりに福祉教育機能は幅広く活用されている。その源流を振り返り、今後の地域共生社会の形成に向けた多くのヒントをいただくことができた。地域を基盤とした福祉教育は、「支える、支えられる」という一方的な関係ではなく、「相互に支え合う」ケアリングコミュニティを創り上げる方法の一つとなることを改めて考える機会となった。

### **第4回 2021年12月1日(水) 同朋大学 羅 佳先生**

#### **【テーマ】「中国都市部の地域コミュニティにおける住民の生活保障に関する取り組み」**

「中国都市部の地域コミュニティにおける住民の生活保障に関する取り組み」のテーマで、中国の「社区服务」という地域コミュニティにおける取り組みを中心にご説明いただいた。講師は留学生として日本の大学で学んだ経験や今まで取り組んだ研究テーマ、研究方法について語り、その研究に対する姿勢は、留学生の院生だけではなく、日本人の院生の研究視点や方法、そしてCSWの実践にも刺激となるものであり、受講者からは「研究の材料が意外にも自分のすぐ近くにあり、それに気付くこと、そして探求心を持ち続け、行動することの大切さと面白みを感じることができた」との感想が寄せられた。